

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

9月園だより

令和2年8月25日

August 25, 2020

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



大きな一歩へ

園長 河合 晴美

例年とは違う、また短い夏休みでもありましたが、子どもたちにとっては、どのような夏を過ごしたでしょうか。保護者の皆さまには、いつも以上に健康に配慮しながらの夏休みとなりましたことをお察し申し上げます。

さて、夏休みに入る前、子どもたちに夏休みの過ごし方について話をしました。元気よく返事をし、守れることを表していた子どもたちでしたが、いかがだったでしょうか。月日を振り返ると、りんご組は、幼稚園の生活の中で、やってみたいことがたくさん表されるようになりました。ばら組は、やりたいことを言葉や行動で伝えるようになってきました。さくら組は、自分で考えて行動する姿が多くなりました。このような姿が、1学期最後に見られた遊びや大掃除の場面で大いに発揮されていました。

御家庭での生活にも変化が見られたことと思います。思わぬ一面を見ることもあったかと思えます。是非、この一年の一日一日が、子どもたちにとって大きな一歩につながる一日であってほしいと思えます。

まだまだ暑さが厳しいです。予定通りにいかなくて・と嘆きたくなることもあると思いますが、このようなときこそ子どもたちの力を信じて、「任せた」という場面を作ってみてください。子どもたちは、力を発揮し、事を行うでしょう。そして、そこから「できた」(=自己効力感)「役に立った」「喜んでもらえた」(=自己有用感)等を感じる経験となり、大きな意味をもちます。できる自分を感じることや他者からの評価で自分を知ることは、次の成長につながります。日常生活のほんの一コマではありますが、今できるこの機会が大きな一歩、そして、大きな自信につながります。

幼稚園の2学期は、子どもたちが自分の力を発揮しながら意欲的に様々な活動ができるように、また、豊かな体験となるように職員一同努めてまいります。引き続き、ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



<園庭にたくさん実ったブドウ>



<緑のカーテンになったスズメウリ>

